TITLE:

東南アジアと考える持続可能な社会

AUTHOR(S):

河野, 泰之; 福原, 隆一

CITATION:

河野, 泰之 ...[et al]. 東南アジアと考える持続可能な社会. 京都大学アカデミックデイ2018 : 研究者と立ち話（ポスター/展示） 2018: 23.

ISSUE DATE:

2018-09-22

URL:

http://hdl.handle.net/2433/234902

RIGHT:

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository

持続可能な開発とは？

Energy & Environment

環境・エネルギー分野
(NSTDA タイ国立科学技術開発庁)

再生可能エネルギーの ASEAN 諸国への導入のための共同研究を進めています。特に農村部の無電化地域での**バイオマス利用**研究に取り組んでおり、ラオスで試験導入を始めたバイオマスからより効率的にエネルギーを取り出す「**溶媒改質法**」の拡張を試みています。また「溶媒改質法」以外のバイオマスエネルギー技術や、**光触媒材料**や**太陽電池材料**等の**エネルギー材料開発**に関する共同研究を NSTDA を中心にして、タイの大学や研究機関と行っています。

Disaster Prevention

防災分野
(MJIIT マレーシア日本国際工科院)

日本と ASEAN 諸国にとって、例えば**大規模自然災害の早期警戒システム**の構築は各国が最優先にあげている課題であり、先端的な技術開発や実用化促進研究を共同で推進しています。具体的には豪雨の観測情報を用いた**豪雨洪水土砂災害の予測手法**の開発・**台風およびサイクロンによる豪雨洪水高潮災害・泥炭地の水循環と火災および大気汚染**（ヘイズ）の解析と予測に関する研究や国際河川であるメコン川の**洪水土砂・農地塩水災害および上流ダムの影響**に関する研究・**地震**とそれに伴う**液状化・津波**に関する防災対策研究・**火山噴火、火山泥流**に関する予測手法の研究などです。

研究総括・中核拠点
(NSTDA タイ国立科学技術開発庁)

日本と ASEAN 諸国の共通課題である国連 **SDGs（持続可能な開発目標）**達成に向けた日本 -ASEAN **共同研究基盤**の形成を目指しています。SDGs 達成に向けた日本の科学技術の取り組みの**「見える化」向上**と**社会実装**を推進し、日 ASEAN で展開される環境・エネルギー、生物資源・生物多様性、防災に関する研究プロジェクト情報を発信、様々なステークホルダーとの**対話・連携**をを強化して共同研究成果の社会実装・産学連携に向けた取り組みを促進しています。

Networking & Partnership

Bioresources & Biodiversity

生物資源・生物多様性分野
(LIPI インドネシア科学院)

生物多様性，植物資源探査，木質材料の有効利用，微生物相を利用した木質素材転換と**バイオレメディエーション**に関する研究を日本の大学や ASEAN諸国の大学・研究所とともに進めています。こうした研究成果を、ASEAN域での研究成果と企業のニーズ、ASEAN諸国の持続可能な社会の達成に資するとの社会実装へ向けたマッチングを進める一方、ASEANの**生物資源の保全と公正な利益配分**に取り組んでいます。